

【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 28 年 11 月 4 日（金）

地区 宮山小学校区

会場 宮本地区コミュニティセンター

参加者数 11 人



《質問・意見》

伊勢市には福祉避難所がない。災害時要援護者避難所が 14 箇所あるが、登録した人しか使えないのではないかと。登録までいかない、もう少し障がいの軽い人が使える避難所というのは考えていないか。

《回答》【市長】

災害時要援護者は高齢者施設で受入してもらっている。登録した人というのは、手上げしてもらって災害時要援護者台帳に登録してもらった方のことだと思うが、妊婦だけとか障がいのある方だけという避難所の設定はしていない。

《質問・意見》

障がい児の母であるが、市長のおかげで障がい者福祉のことが動き始めている。発達支援室の設置や小学校へのシステムアドバイザーの派遣など感謝している。これからも議論されていくと思うが、今後どうなっていくかという不安もあり、進捗状況や将来の展望を聞きたい。短期入所の施設も増えているが、移動支援も増やして自立支援の充実を目指して検討してほしい。

《回答》【市長】

八日市場の保健センターに来年 4 月に発達支援室を設置したいと考えている。また、駅前再開発が動いた時には、再開発ビルに総合福祉の拠点を作りたいと考えており、保健センターの機能や「何でも福祉相談」のような機能を設置したいと考えている。移動支援については研究したいと考えている。お母さん方の意見を聞いてプランニングしたいので、ご協力をお願いしたい。

《質問・意見》

二見デイサービスセンターが、身体障がい者の生活介護施設、短期入所施設に移行されるのはありがたく思っており、二見デイサービスセンターと同様に施設の質も良いものに保っていただきたい。二見町なので災害時の体制もしっかり整えてほしい。

知的障がいや精神障がいの施設は満床が多いので、需要と供給のバランスをとるようにしてほしい。就学前、就学児の児童発達や放課後デイサービスは充実しているが、高校卒業後の成人の障がい者福祉についても充実をお願いしたい。

介護事業所が放課後デイサービス等の児童福祉事業へ参入するのが見受けられる。新たな障がい者施設を作るのも大変なので、障がい者であっても高齢者であっても、同じようにサービスを受けることができるようになれば良いと思う。

《回答》【市長】

勉強させていただきたい。

《質問・意見》

障がいのある息子が毎日おかげバスを有効に使わせてもらっており、喜んでいる。この地域の最終のバスは伊勢市役所裏を5時半に出るが、もう少し遅い時間にもう一本あるとありがたい。

障がい者雇用については三重県下でも取組みされているが、公的機関の市、県の直接的な雇用を考えていただくとありがたい。

《回答》【市長】

今年は伊勢市役所で2名の枠で障がい者の雇用を考えている。

《質問・意見》

柿を栽培しているが、猿の被害が大変多い。市で調査しているが、車で調査に行ったら、大きな猿が窓ガラスを叩いてきて車から出られなかったらしい。人への危害も心配されるので、猟友会などで対処してもらえないか。猿の頭数を減らす必要がある。

《回答》【市長】

対策強化について考える。

《質問・意見》

子どもが少なくなり、働く人も外へ出て行ってしまう。市長は雇用についてどういう取り組みをしているか。企業誘致を考えてほしい。

《回答》【市長】

アリーナの奥の企業誘致用地では、新規工場を稼動する時に10人の新規雇用をするという条件を設けているので、全部埋まると100から150人くらいの雇用が生まれる。神菌の工業団地は現在協議中で、これが決まると市有の工業団地がなくなってしまう。市としては、工業用地について税金を投入していくかという議論を早急に行っていかなければならないと考えている。

《質問・意見》

東北の地震があつてから、津波の避難所が作られるようになった。この地域は高台で津波の心配はないが、土砂崩れの心配がある。当初は宮山小学校が避難所になっていたが、裏山の傾斜の問題で避難所からはずされ、この地域の避難所は宮本地区コミュニティセンターだけになってしまったので、避難場所の対策をお願いしたい。

《回答》【市長】

以前も課題をいただいていた。検討していきたい。

《質問・意見》

知り合いの高齢者が詐欺に遭ったが、要因として人間関係が希薄になっていることがある。今はデジタルの時代で瞬時に場面が変わっていく。私たち高齢者はそれについていけない。夜にパトロールもしているが、人通りのないところでは不審者が出ることもある。少しの情報でもいただければ、それを参考にして住民の安全を守っていきたい。現在は青パト3台で、交代で見回っている。

《回答》【市長】

こつこつと地域のために回っていただきありがとうございます。平成13年から14年頃が犯罪件数のピークで、今はその半分くらいになっている。それぞれの地域での活動が犯罪の抑制に繋がっていると考えている。

《質問・意見》

ハローワークでも障がい者の求人が増えているが、内容を見ると障がいの程度の軽い方が目立ち、中重度の働ける場所が少ない。若い人の雇用を考える中で、中重度の障がい者の雇用についても考えていただきたい。

《回答》【市長】

障がい者雇用は、こつこつとした活動が大事だと思っている。